



2024年は能登半島地震や国内外で航空機事故が起きるなど波乱に満ち、今年に入ってから道路陥没事故により多くの人々の暮らしに影響が出ました。インフレの加速も大きな課題として浮上し、先行き不透明な相場観であらゆる製造現場で原材料のコストが膨れ上がっています。物流費や人件費も上がっており、いかに価格転嫁できるかが課題です。値上げムードは徐々に社会全体に浸透しつつありますが、この過渡期をいかに乗り越えていくかが肝要です。当工業会の会員企業においてはユーザーや調達先、会員間の連携によって安定的な製造、販売を保っています。

「サステナブルなバルブ業界へ」次世代人材育成と働きやすい職場へ「情報・事業の活性化による認知度・満足度向上」業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上の4つを重点課題に掲げ、注力しています。

業界の持続的発展のためには、会員企業の期待やニーズをスピーディーに把握し、工業会から有益な情報や交流の場を積極的に提供していくことが大切だと考えています。私たちは人材交流や産官連携、情報共有を積極的に後押しし、業界全体の更なる活性化に努めていきます。

本年のトピックとして、2025年国際博覧会(大阪・関西万博)が開催されます。パビリオンに、提案・協賛されている会員企業もおられます。万博は日本の都市文化の紹介に加えて、技術力の高さをアピールする絶好の機会になると考えます。いま、日本の産業界にとって厳しい状況が続きますが、日本経済にとってプラスとなるイベントになってほしいと願っています。

波乱に満ちた時代ですが、上昇気流に乗るための好機とも捉えられます。日々の状況の変化に振り回されるのではなく、いかに情報を的確につかみ、関係者間で共有していくのが重要です。

私たちの製品は主に工場・建築用機械、ガス・電気・水道用などのインフラ設備など様々な分野で使用されています。社会の生活を縁の下で支え、快適で便利な公共空間に欠くことのできない存在です。日本全体に貢献し続ける業界であるために、今後も邁進(まいしん)していきます。

未来創るバルブ業界

次の10年に向けた更なる発展で

地政学的な懸念の高まりによる為替変動や素材価格の高騰、人手不足など製造業をめぐる環境は大きく揺れ動いている。不安定要因の多いこの時代に、各分野の生産設備やインフラを支える日本バルブ工業会は、どのように向き合い、持続的な発展を目指しているのか、同工業会の西岡利明会長に聞いた。



日本バルブ工業会 会長 西岡 利明氏

水から、ドラマチックに。

水にしか作れない感動がある。水にしかできない癒しがある。生きるためだけでなく、暮らしの喜びのそばにも、水は欠かすことができない。だからあなたと水との出会いを、もっと素敵に、ドラマチックに。24時間365日、今日も世界のどこかで、SANEIは飲むの瞬間をつくっています。

ALWAYS WITH JOY
SANEI

SANEI 株式会社 www.sanei.ltd



KITZ

流体とともに
未来を創る

挑戦

創業の原点であるバルブから、流体にまつわるあらゆるものに、キッツは“Strong will”で、挑戦を続けます。

株式会社 キッツ



本社 東京都港区東新橋一丁目9番1号
東京汐留ビルディング

長坂工場 山梨県北杜市長坂町長坂上条2040
伊那工場 長野県伊那市東春近7130
茅野工場 長野県茅野市金沢5125

KITZ Group

- 株式会社 清水合金製作所
- 株式会社 キッツエスシーティー
- 株式会社 キッツエンジニアリングサービス
- 株式会社 キッツマイクロフィルター
- 株式会社 キッツメタルワークス
- 他、キッツグループ全34社 (2025年3月1日時点)



菊ハンドルは信頼されるバルブのブランド「KITZ」のシンボルです。